



## 能登半島地震 災害支援ボランティア 3日目

最終日は輪島市立大家小学校に向かいました。こちらも発災当時は指定避難場所ではなく近くの公民館（こちらは指定避難所）に入りきれなかった人々が押し寄せて来たそうです。津波警報が出て沢山の人が途方に暮れる中、大家小の卒業生の高校生が窓を割りそこから中に入ってかぎを開けて300を超える人が避難できたそうです。平常時なら窓ガラスを割って中に入ることは犯罪行為となりますが、非常時のこの時の臨機応変な行動に今でも皆さんは感謝しておられました。災害時から現在もこちらの避難所は地域の皆さんで運営されてました。



半年後の7月1日に倒壊した家



水道は臨時設置



職員室の黒板も1月のまま



倒れたビルの下にはもう  
一軒のお店があった



地震災害時に止まった時計



高校生が割って入ってみんな  
を助けた窓

